

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第117期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	わかもと製薬株式会社
【英訳名】	WAKAMOTO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神谷 信行
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号
【電話番号】	(03)3279-0371(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号
【電話番号】	(03)3279-0371
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【縦覧に供する場所】	わかもと製薬株式会社 大阪支店 (大阪市東淀川区豊里六丁目29番6号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第116期 第1四半期連結 累計期間	第117期 第1四半期連結 累計期間	第116期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	2,313,171	2,391,043	9,669,815
経常損失()(千円)	153,567	140,379	568,737
四半期(当期)純損失()(千円)	132,752	64,193	425,505
四半期包括利益又は包括利益(千円)	142,724	45,254	533,417
純資産額(千円)	12,443,836	12,118,864	12,164,849
総資産額(千円)	17,707,922	17,255,973	17,176,950
1株当たり四半期(当期)純損失()(円)	3.86	1.84	12.30
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	70.27	70.23	70.82

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

4. 第116期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、当第1四半期連結累計期間において、連結子会社1社を吸収合併いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の概況

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあって当社グループの医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」等の眼科領域製剤の販売促進に加え、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬として昨年5月に「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」を、昨年11月に「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」を、また眼科手術補助剤として昨年12月に「マキユエイド硝子体内注用40mg」を発売し、普及活動に注力いたしました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き(医薬部外品)「アバンピーズ」シリーズとして、「アバンピーズ シトラスミント味」「アバンピーズ ラ・フランスミント味」「アバンピーズ ワイルドミント味」「アバンピーズ ダンブランシュ」「アバンピーズ コーラル (イプシロン)」の5製品を今年3月にリニューアル新発売いたしました。

特販事業では、海外向けに乳酸菌および点眼剤を、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は23億9千1百万円(前年同期比3.4%増)、営業損失2億2百万円(前年同期は営業損失2億7百万円)、経常損失は1億4千万円(前年同期は経常損失1億5千3百万円)、四半期純損失は6千4百万円(前年同期は四半期純損失1億3千2百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では、新発売の眼科領域製剤及び「ゼペリン点眼液0.1%」等が売上に寄与しましたが、主力製品の「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」が減少いたしました。その結果、売上高は13億6千1百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」が減少しましたが「アバンピーズ」シリーズが寄与し、その結果、売上高は4億9千3百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

特販事業では、輸出用「わかもと」が堅調に推移し、海外向け点眼剤が増加いたしました。その結果、売上高は5億9百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は2億2百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	34,838,325	34,838,325	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株であ ります。
計	34,838,325	34,838,325	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	34,838,325	-	3,395,887	-	2,675,826

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 31,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,192,000	34,192	-
単元未満株式	普通株式 615,325	-	-
発行済株式総数	34,838,325	-	-
総株主の議決権	-	34,192	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権の数3個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
わかもと製薬株式会社	中央区日本橋本町二丁目1番6号	31,000	-	31,000	0.09
計	-	31,000	-	31,000	0.09

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当第1四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,222,576	885,498
受取手形及び売掛金	3,956,058	3,922,485
有価証券	405,364	405,452
商品及び製品	1,336,120	1,445,297
仕掛品	335,759	454,887
原材料及び貯蔵品	537,121	479,831
未収還付法人税等	3,064	3,064
繰延税金資産	286,011	251,537
その他	152,027	233,605
流動資産合計	8,234,104	8,081,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,339,056	3,357,503
機械装置及び運搬具(純額)	1,704,421	1,651,189
土地	393,736	393,736
建設仮勘定	157,696	81,745
その他(純額)	125,139	114,943
有形固定資産合計	5,720,050	5,599,119
無形固定資産		
特許実施権	-	300,000
借地権	67,707	57,736
ソフトウェア	33,199	28,849
その他	6,143	6,118
無形固定資産合計	107,050	392,704
投資その他の資産		
投資有価証券	1,425,371	1,430,994
保険積立金	725,298	744,964
繰延税金資産	884,076	928,027
その他	80,997	78,504
投資その他の資産合計	3,115,744	3,182,491
固定資産合計	8,942,845	9,174,315
資産合計	17,176,950	17,255,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,206,535	1,154,226
未払金及び未払費用	452,642	775,785
短期借入金	196,000	196,000
未払法人税等	30,745	9,046
未払消費税等	21,981	12,960
賞与引当金	174,800	69,952
返品調整引当金	7,000	11,000
設備関係支払手形	45,076	74,065
設備関係未払金	151,180	151,131
その他	28,018	23,172
流動負債合計	2,313,979	2,477,340
固定負債		
長期借入金	1,230,000	1,181,000
退職給付引当金	1,297,817	1,328,864
役員退職慰労引当金	165,900	145,900
長期預り金	4,403	4,004
固定負債合計	2,698,121	2,659,768
負債合計	5,012,100	5,137,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,124,537	6,060,343
自己株式	10,306	11,037
株主資本合計	12,185,944	12,121,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,094	2,155
その他の包括利益累計額合計	21,094	2,155
純資産合計	12,164,849	12,118,864
負債純資産合計	17,176,950	17,255,973

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,313,171	2,391,043
売上原価	1,050,118	1,053,491
売上総利益	1,263,053	1,337,552
販売費及び一般管理費	1,470,605	1,540,276
営業損失()	207,552	202,724
営業外収益		
受取利息	112	113
受取配当金	17,582	18,025
受取地代家賃	7,522	6,743
受取技術料	36,406	46,408
その他	5,757	7,933
営業外収益合計	67,381	79,224
営業外費用		
支払利息	7,262	6,430
固定資産除却損	454	63
寄付金	3,721	2,656
その他	1,958	7,729
営業外費用合計	13,396	16,880
経常損失()	153,567	140,379
特別利益		
固定資産売却益	-	64,929
役員退職慰労引当金戻入額	-	20,000
特別利益合計	-	84,929
特別損失		
投資有価証券評価損	34,086	24,058
特別損失合計	34,086	24,058
税金等調整前四半期純損失()	187,653	79,508
法人税、住民税及び事業税	5,621	4,309
法人税等調整額	60,523	19,624
法人税等合計	54,901	15,315
少数株主損益調整前四半期純損失()	132,752	64,193
四半期純損失()	132,752	64,193

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	132,752	64,193
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9,972	18,939
その他の包括利益合計	9,972	18,939
四半期包括利益	142,724	45,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,724	45,254

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年6月30日)

(1) 連結の範囲の変更

当社は、連結子会社である信栄株式会社を平成23年5月1日付けで当社を存続会社とする吸収合併を行いました。なお、吸収合併日までを含めた四半期連結財務諸表を作成しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	294,763千円	240,663千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成22年6月25日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	85,941千円
1株当たり配当額	2.5円
基準日	平成22年3月31日
効力発生日	平成22年6月28日
配当の原資	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注)2
	医薬事業	菓粧事業	特約事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,386,473	469,936	446,621	2,303,032	10,139	2,313,171	-	2,313,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	13,815	13,815	13,815	-
計	1,386,473	469,936	446,621	2,303,032	23,955	2,326,987	13,815	2,313,171
セグメント利益又は 損失()	181,106	19,473	12,465	213,045	5,493	207,552	-	207,552

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、主として不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注)2
	医薬事業	菓粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,361,878	493,626	509,589	2,365,095	25,948	2,391,043	-	2,391,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	1,868	1,868	1,868	-
計	1,361,878	493,626	509,589	2,365,095	27,817	2,392,912	1,868	2,391,043
セグメント利益又は 損失()	147,184	127,126	61,174	213,136	10,412	202,724	-	202,724

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、主として不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 共通支配下の取引等

当社は、平成23年2月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社である信栄株式会社を吸収合併することを決議し、平成23年5月1日付けで吸収合併いたしました。

(1) 結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称 当社の連結子会社である信栄株式会社

事業の内容 不動産賃貸、保険代理店業務

企業結合日

平成23年5月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社、信栄株式会社(当社の連結子会社)を消滅会社とする吸収合併方式

結合後企業の名称

わかもと製薬株式会社

取引の目的を含む取引の概要

業務効率の向上と意思決定の迅速化を図り、将来に向けた新たな成長の加速を目指し、事業基盤の強化を推進するものであります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額	3円86銭	1円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	132,752	64,193
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	132,752	64,193
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,374	34,805

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月9日

わかもと製薬株式会社
取締役会 御中

京橋監査法人

代表社員 公認会計士 小宮山 司 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 下村 久幸 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。